

| 平成 28 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス | | | | | | |
|--|----------------------------|--|----------------|----------------|--|--|
| 教科目名 | 建築設計製図 II | 担当教員 | 清水隆宏 鶴田佳子 今田太郎 | | | |
| 学年学科 | 4 年 建築学科 | 通年 | 必修 | 4 単位(学修) | | |
| 学習・教育目標 | (D-4) 60% (E) 33% (B-2) 7% | JABEE 基準 1 (1) : (c) (d) | | | | |
| 授業の目標と期待される効果： 建築設計製図 II においては、建築単体に留まるのではなく、地域や社会をよりよい方向に向けていく為の提案性を持ったデザイン能力を習得する。具体的には以下の項目を目標とする。 1. 様々な社会的問題に対して、建築の計画を通じた提案能力を身につける。 2. CAD, CG を活用した建築表現が出来る。 3. 自身で考えた計画を、他者に説明できる能力を身につける。 | | 成績評価の方法： 各課題 100 点×3 課題=300 点の総得点率 (%) によって成績評価を行う。なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 達成度評価の基準： 各課題について①～④の項目について、6 割以上達していること。なお成績評価への重みは、①～④を各 20～30%とし、④については講評会等も行いその達成度を確認する。 ① 課題の意図を理解し、的確に企画を立てられる。 ② 創造的かつ整合性のとれた計画を作成できる。 ③ デジタルツールを用いて的確で美しい表現ができる。 ④ 相手の的確に意図を伝えるプレゼンテーションができる。 | | | | |
| 授業の進め方とアドバイス： 授業内では多数の事例を画像を示して紹介、また可能な限り歴史的建造物の保存修理工事現場や活用事例の見学を実施する予定である。歴史的建造物の保存再生については、近年世界各地において問題となっており、具体的な事例について自分自身で情報を収集し、保存する意義、建物の価値、保存活用方法について興味を持って自身の考えをまとめて授業に臨んでほしい。 | | | | | | |
| 教科書および参考書： 教科書：日本建築学会編 コンパクト資料集成 (丸善) 建築関係の諸雑誌等に常に目を通し、情報を収集すること、また、建築設計製図 II では、社会性を持った課題が設定されるので、日頃から新聞等のメディアを通じて、社会や地域の状況を把握すること。 | | | | | | |
| 授業の概要と予定：前期 【第 1 課題】複合空間の計画 (担当：清水) 第 1 回：課題提示、趣旨説明 第 2, 3 回：空間の設定 第 4, 5 回：資料の収集 第 6, 7 回：エスキースチェック 1 (コンセプト・基本計画の検討) 第 8 回：エスキースチェック 2 (スタディ模型などによる検討) 第 9, 10 回：エスキースチェック 3 (平面図・立面図の検討) 第 11, 12 回：エスキースチェック 4 (断面図・パースの検討) 第 13, 14 回：エスキースチェック 5 (プレゼンテーションの検討) 第 15 回：講評会 (プレゼンテーション) | | 教室外学修 | | AL のレベル | | |
| | | 各授業毎の授業進行に対応した内容 (平面図, 立面図, 断面図, スタディ模型など) のエスキースを適切なスケールで作成する。また、適宜各自の作業スケジュールに沿って課題の作成を行う。 | | C | | |
| | | | | C | | |
| | | | | C | | |
| | | | | C | | |
| | | | | C | | |
| | | | | C | | |
| | | | | C | | |
| | | | | A | | |
| 授業の概要と予定：後期 【第 2 課題】地域課題解決にむけたまちづくり計画 (担当：鶴田) 第 16 回：課題提示、趣旨説明 第 17～18 回：現状分析まとめ 第 19～22 回：まちづくり計画の作成 【第 3 課題】第 2 課題の設計への展開 (担当：今田) 第 23 回：課題説明 第 24～28 回：エスキースチェック 計画コンセプト 建築平面図・建築立面図・断面図 詳細計画 第 29 回：プレゼンテーションチェック 第 30 回：講評会 (プレゼンテーション) | | 教室外学修 | | AL のレベル | | |
| | | 授業進行に対応した内容 (現状分析、まちづくりコンセプト、まちづくり手法、まちづくり計画など) について、各自まとめ提出する。 | | C | | |
| | | | | C | | |
| | | | | C | | |
| | | | | B | | |
| | | | | C | | |
| | | | | C | | |
| | | | | A | | |

評価（ルーブリック）

| 達成度 評価項目 | 理想的な到達 レベルの目安 (優) | 標準的な到達 レベルの目安 (良) | 未到達 レベルの目安 (不可) |
|-------------|----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------|
| ① | 課題の意図を理解し、的確に企画を立てられる（8割以上）。 | 課題の意図をほぼ理解し、企画を立てられる（6割以上）。 | 課題の意図を理解し、的確に企画を立てることができない。 |
| ② | 創造的かつ整合性のとれた計画を作成できる（8割以上）。 | 創造的かつ整合性のとれた計画をほぼ（6割以上）作成できる。 | 創造的かつ整合性のとれた計画を作成することができない。 |
| ③ | デジタルツールを用いて、的確で美しい表現ができる（8割以上）。 | デジタルツールを用いて、ほぼ的確で美しい表現ができる（6割以上）。 | デジタルツールを用いて、的確で美しい表現ができない。 |
| ④ | 相手に的確に意図を伝えるプレゼンテーションができる（8割以上）。 | 相手に的確に意図を伝えるプレゼンテーションがほぼ（6割以上）できる。 | 相手に的確に意図を伝えるプレゼンテーションができない。 |